

上郡町公共交通対策協議会

平成22年3月1日設置

概要

上郡町は、手のひらを広げたような谷間毎に集落(校区)があり、大きな総合病院もない。また、現在、民間2社が路線バスを運行しているが、交通空白地が7小学校区のうち、4校区もある。そのため、まちづくりとの連携、地域の活性化を促進し、利便性の確保など、都市政策と一体となった公共交通の構築に取り組んでいく必要がある。さらに、将来にわたって公共交通を維持・確保するには、住民が公共交通の重要性を認識し、それぞれの役割を果たし、協働して支える、安定的で持続可能な交通システム、JR西日本山陽本線との連携などを、創り育てるための総合連携計画を策定する。



○公共交通の効率的な運営方法・ニーズ把握による公共交通の再編計画の検討

- ①路線バス、タクシー外出支援制度利用意向の把握(懇談会の開催等)
- ②上記の上郡町における公共交通整備方針の検討
- ③運行計画の検討(新たな路線計画、便数等)
- ④収支検討(費用の試算、運賃の設定、収支の試算)
- ⑤実施計画の検討(実証運行の企画、実施スケジュールの検討)

○現況交通実態に関する調査及び計画代替案の検討

- ①地域ごとの問題点の整理
- ②交通空白地域等での高齢者等の移動等の把握(懇談会の開催等)
- ③計画代替案の検討(路線、車種、運行日・便数、運賃等)
- ④代替案の提示と住民選択

○利便性向上策・利用促進策の検討

- ①公共交通利用の利便性・快適性を高めるための方策の検討
- ②マイバス意識を涵養するための方策の検討
- ③利用促進策の実施計画の検討

○公共交通相互連携方策の検討

- ①検討結果のとりまとめ
- ②協議会の開催
- ③連携計画の策定

